

大和を掘る！ 最新の発掘調査をふまえて論考！

# 橿原考古学 研究所論集

発掘調査の最前線

第十四

奈良県立橿原考古学研究所 編

2003年11月刊行予定！

【定期予約募集中】



飛鳥京跡  
苑地遺構  
流水施設

■ A5判 ■ 730頁 (予定) ■ 上製本 ■ 函入

■ ISBN4-8406-2081-4 C3320 ■ 本体予価 18,000円

■ 定期予約募集中【次回第15 2008年刊行予定】

既刊1号から13号までは吉川弘文館が発行元となっております。在庫等のお問い合わせは吉川弘文館へ直接連絡下さいますようお願いいたします。

## 目次 (予定)

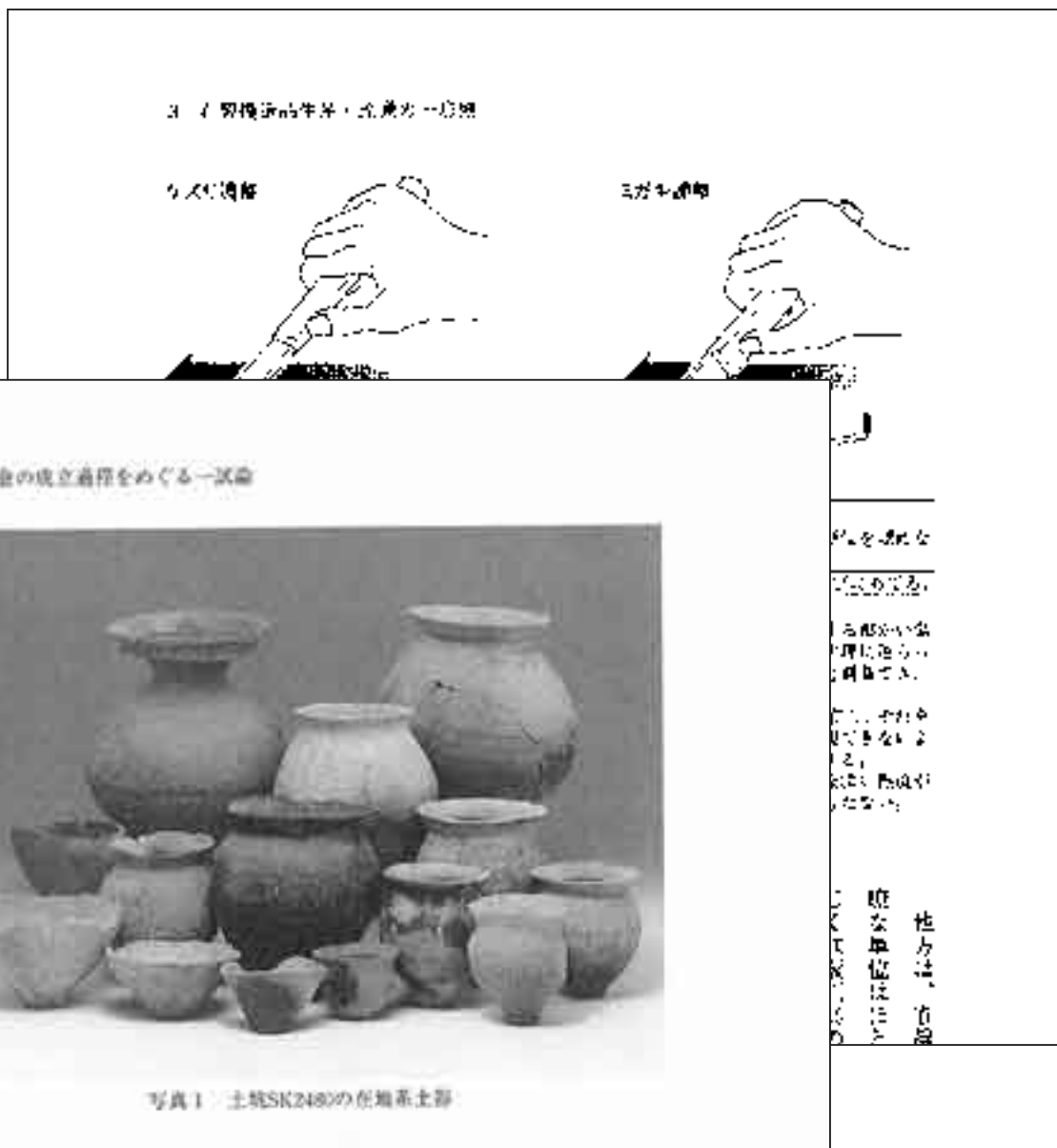
- |   |  |
|---|--|
| 樋口隆康「社稷の起源」   | 直木孝次郎「河内の渡来人と古代国家」                           |
| 松田真一「縄文文化確立期における石器組成の地域性」                             | 服部伊久男「宮宅と古代寺院の構造」                            |
| 渡辺 誠「もっとも細かい網代の圧痕」                                    | 平田政彦「斑鳩地域における飛鳥時代寺院の様相(一)<br>—法輪寺創建年代私考—」    |
| 石野博信「一九五〇年代、縄文・弥生移行期の研究」                              | 濱口芳郎「西田中遺跡と古代の造瓦所」                           |
| 角山幸洋「出土織物の織幅から貫頭衣の構成へ」                                | 網干善教「「頡頏」を表現する図像について<br>—キトラ古墳壁画の朱雀図に関連して—」  |
| 柳田康雄「短身銅矛論」   | 竹田政敬「藤原京の宅地—班給規定と宅地の実相—」                     |
| 清水真一「大和の弥生時代方形周溝墓と台状墓」                                | 井上 薫「智努王の珍努宮と元正天皇の和泉宮」                       |
| 松井一晃「弥生土器における赤色塗彩の展開」                                 | 大西貴夫「菅原寺及び周辺出土の瓦からみたその造営背<br>景」              |
| 菅谷文則「三角縁神獸鏡の出土傾向」                                     | 奥田 尚「高野山の石造物の石種」                             |
| 東 潮「韓と倭の馬形帯鉤」   | 平山敏治郎「遠国奉行の勤め方ほか—「寧府記事」抄—」                   |
| 茂木雅博「前方後方墳の埋葬施設」                                      | 岡林孝作「南朝皇帝陵の再検討—石獣の編年を中心に—」                   |
| 坂 靖「倭屯倉の成立過程をめぐる一試論— <sup>ともんど</sup> 伴堂東遺跡<br>とミヤケー—」 | 寒川 旭「古墳に刻まれた地震の痕跡」                           |
| 水野敏典「古墳時代中期における鉄鏃の分類と編年」                              | 田中久夫「胞衣覚書」                                   |
| 北山峰生「石製模造品生産・流通の一形態」                                  | 吉田裕彦「方位名称と方位観—西部オーストロネシア語派<br>諸民族の空間認識について—」 |
| 木許 守「鉄地金銅装楕円形鏡板の性格」                                   |  |
| 小栗明彦「近畿地方古墳出土銅鏡と被葬者」                                  |  |
| 青柳泰介「「大壁建物」再考」  |  |
| 勝部明生・鈴木勉「藤ノ木古墳出土馬具の源流を辿る」                             |  |

八木書店 出版部 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 TEL 03-3291-2961 FAX-2962  
<http://www.books-yagi.co.jp/pub> 【詳細書誌情報有】 \*消費税を別途お預かりします

## 本書の特長

- ・最新の発掘調査を踏まえ、考古学を中心として文献史学、東洋史学、民俗学、地震考古学等、周辺分野の専門家を交えて総合的に執筆。
- ・ミヤケ、都城制、古代寺院、服飾等、現在注目されているテーマについて多彩な論考 32 本を収録。
- ・200 点を超す図版を使用することでより具体的に論究する。

## 見本組 (A5 判)



申込書	2003 年 11 月刊行予定		取扱店 (番線印)
	<b>榎原考古学研究所論集 第 14</b>		
	本体予価 18,000 円・税別		
	お名前 (ふりがな)	TEL	
ご住所 〒	FAX		
	E-MAIL		